
ピータン

JIN.KURA

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ピータン

【著者名】

NO743A

【作者名】

JIN・KURA

【あらすじ】

ピータンの日々の成長を観察、ピータンを生んだ親とピータンの生活を親の視点で描いてます

誕生す 1歳

今日、僕がくしゃみをしたら、クチから、なんか出でてきました。

「クルッピッ、、クルッピュー。」

ピータンが誕生しました。

見た目はまさに、トカゲ、です。さもいです。僕の体の中にこんなのが居たと思うと、悲しい気持ちを皆に隠すため、飯を炊きたい気持ちになりました。

なんで名前、ピータンなのか全然分かりません。

「アナコンダ」とか、そんなのが似合いそうな見た目です。

気持ち悪いので、「エイフ」と、ゴミ箱に捨てたら、、「ギヤーオ、くらし、げ、てめえ、ギュアーオ」とか言いながら、「ゴミ箱から出てきちゃいました。それはまさに、もつたいたいお化けの様でした。

しばらく育てて観ようと思いつつ、僕は片親なので、この子が大人になつたら、どう説明していいか分かりません。

しかも僕のクチから出る時、尻尾が歯に引っかかって、少しづぎれています。

心の底から「ピータンは気持ち悪いなあ」と思いました。
ちなみに歯に挟まつた尻尾は、ツマヨウジで取つて、
カレーの中に放り込みました。

ピータンが1才になりました。朝起きると、お尻あたりに違和感を感じました。

田をやると、ピータンが僕のお尻の下で潰れていました。血が出てました。

まるで、処女の子を頂いた感じの血がシーツに付いてしまいました。僕はシーツを洗濯機に入れ、ピータンの尻尾を箸でつまみ、「ゴミ箱に捨てました。そしたら

「ギャーオ、く、らしげ、捨てるなビヤーオオ」「
とか言って、またゴミ箱から出てきちゃいました、

僕は死んでると思ってたピータンが生きてて、本当に嫌な気分になりました。だって、ね？クチから出て来てるし、

とりあえず、ピンセツトで消毒して、寝かせました。
内臓が見えてて、緑色の液体が流れていきました。

かなり消毒が染みるらしく

「クルッピ、クツ！ルツピンー・ピン子！・ブサイクー・ピン子」
つて言つてました。

なんだか、愛着が、わいてきました。

今日の夕食は昨日のピータンの尻尾入りのカレーでした。

2～3歳

ピータン2オです。ピータンに手と足が生えました。手はグーしか出せない、ドラえもんタイプです。でも不思議、なぜか物がもてるんです。

すでにグーなのに、するめを持つて、楽しんでいます。好きみたいです。するめ。

するめ欲しい時は

「ジャヴァホフーす、る、め、メーダーカの学校はー、川の一
中ー！」

みたいな意思表示をしてきます。

えーと、足はですね、8本も生えました、
これ、なんの生き物なんですかね。

でも可愛いこともあるんですねよ。部屋にハエが飛んでこると、

「フギヤーぶち殺すぞー！」りあー！コレ」

みたいな発言をして、手を2メートルくらい伸ばし、ハエを捕まえてくれるんです。

で、そのハエを、僕の寝ている顔に「ペツ」と、落として行きます。ピータンの愛情表現、なんでしょうな、あつ、わう言えば、この話の主人公は、くらしだといつも前です。

まあ、名前なんてジーでもいいんですけど。

びつしまじょひ、3歳です、ピータン。

7・5・3の3です。なにかお祝いしてあげなきや、や、

今日、朝起きてピータンを見たら、びっくり。
田玉が3つになつてます。（テンシンハン風）
両田はしっかり動いてるんですが、額のところに新しく出来た田玉、
動いてません。

飾りなのがなあ。

そして、昨日8本あつた足が、5本に減っています。
不思議に思い、家族の部屋に行くと、家族で、たこ焼きをしてま
した。
え？、まさか、

僕は親を問いつめました。そしたら親が
「ピーピーうるさいわっ！－あなたの部屋にタコがいたから、足、
ハサミで切つて
入れただけじゃないの！文句あるなら、家にもつと金入れなさい！
！そもそもあなたは」
つてな感じで朝から2時間くらい説教される始末、タコでは無い
よ、と突っ込む事も
出来ませんでした。

僕はピータンが可哀想に思い、部屋に戻りました。そしたらピータ
ンが
「ジャフテック！－く、らしげ、おい、く、らしげ－！」言かつたか
？ジヤー！俺の足！
凄く怒つてる感じです。よく見たら、3つの田玉から、涙が、
出でています。

僕は「ピータン、『ごめんね。ピータンタン』×5
泣きながら謝りました。

ピータンが生まれてから、始めて悲しい思いになりました。

で、ピータンの怪我の状況をじょりと見てから、「うーん、

1一本になりました。

ピータンは恥ずかしそうに

「へへ、クルシップ、もう生えなかつた。ピコマーク」と、アイドルが脇毛の剃り残しの写真を取られ、記者会見で多くの説みみたいな感じの台詞を吐きました。

4～5歳

もう4歳があ、ピータン。 今日、あまりにひるむべくて、起きた
ら、凄い事になつてました。

猫とピータンが本氣で喧嘩してます。

猫「にゃーオー！」コあーオー！」

ピータン「ドーバミン…！『ヤアーオー・アドレナリン…！』

ピータンはまた、足が6本になつてました。

部屋中にピータンのちぎれた足が散らばつてます、
僕は起きたばかりなので、タバコに火を付け、昨日寝る前に食べれ
なかつた、ローソンのカツカレーを食べ始めました。

昨日、たこ焼きにしたピータンの足、美味かつたので、
カツカレーに3本だけ、入れて食べました。えへへ。

戦いは続いてます。猫も、足を引きずつてます、かなりの死闘で
す。

次の瞬間、恐ろしい光景を見ました。

猫がね、ネズミ食い殺すみたいに、ピータンを飲み込んだんなら
話は分かるんですけど、ピータンが、

猫を飲み込もうとしてます、

「く、らしげビヤーオ！入らない！猫大きくてクチに入らない！猫
ひろし」

みたいな発言をしました。

猫「にゃオー！あーーオー！」

僕は喧嘩を止めました。2匹共、なんか、イカ臭くて嫌でした。

猫には、猫缶を開けてあげました。喧嘩してたのも忘れ、ガツガツ食つてました。

ピータンは、よく見たら、なんか体が15cmから、80センチくらいに大きくなつてました。

明らかに、喧嘩の前にすでに、なにか飲み込んでいます、僕、ウサギも飼つてるんですけど、小屋にウサギが居ませんでした、

本格的な中華、食べたい、じゃなくて、本格的にピータンを捨てようと決めました。

ワオっ！早くも5歳。さらに、なんかね、ピータンが部屋から居なくなりました、何度も僕らに足を喰われ、猫と、喧嘩、何度も

僕は少し愛着も湧いていたので、ピータンを探しに行きました。はい。居ました。2秒で見つけました。

玄関にいました。

扉が開けられないらしく、困つてるみたいで

「ドッキンキホーテ！開けるや、く、らしげー初めての、お、つかい、行く、卵、買つてくる」

昨日テレビで観た、初めてのおつかいに影響されてるみたいです。可愛いところもあるんだなあと思ったのも束の間、

首にぶら下げた財布を見たら、、8万も入っています、
問い合わせたら、昨日食つてしまつた、僕のウサギ、、美味かつたら
しく、、食用に5匹くらい、買いに行こうとしてました。
あはは、、こいつー。どこ捨てよつかなあ。

6～7歳

6歳だよ、ピータン。今、海です。ピータン捨てに来ました。海とかに捨てないと、戻つて来ちゃうのでね。

一時期は可愛いのかなあと、錯覚しちゃった事もありましたが、大きな間違いでした。今、1メートル20センチの大きさに成長していますわ、、

車で遠くの海まで、来たんですが、高速道路のパーキングに8回も止まられました。各地で名産品買い込んでいます、トカゲのくせに。

しかも、なんかずっと車の中で俺の肩に手を置いて、「うん、うん」とうなづいています。

いや、なにを理解してるんでしょうか？

トランസが好きらしいへ、車の中、ずっとトランസが掛かつてます。

そして海につきました。何県か知らんけど、太平洋です。
着いた瞬間、「ジャヤー！！ 海 海 海はーひるーいなー！ おおきー
なー！」

と、トランസのリズムで歌い、海まで走ります（17本の足）

僕は切ない気持ちでした。無邪気にほしゃこでこむピータンをここに置き去りにしようとしてるんですけど、

けど、もつ、なんの動物かも分からんピータンを育てて行く事は限界でした、、

「さよなら、ピータン」

僕は各地で買った名産品をそつと下ろし（まあ、俺の金で買ったんだけど）、車を走らせると、ピータンはそれに気づき、僕を追いかけて来ます。「へ、らしげ、待つてよ！捨てないで！…」

泣きながら走って来ます、、

けど、僕は止まつませんでした。やがてスピードを上げ（100キロ）ピータンを突き放しました。本当によなら、、ピータン。僕も涙が止まりました、せんでした、、

30分後、悲しくて、ふと、窓の外に田をやると、ピータン、、いました。あの、、なんなんですか、、あなた、、100キロですけど、、ドラマじやないんですけど、、

僕は高速道路で150キロ出しました。さすがにいなくななりました。

あ、、もう7歳です、ピータン。朝、テレビを観てたら、びっくり！ピータンが出ています。ビルや、建物、、ぶつ壊してます、、見た感じ、3メートル以上身長ありそうです。しかも「許さない！…ビューオー！…へ、らしげ許さない！…殺す」つて全国放送で言つてます、、

あ、、今、人を飲み込んだ、、

もう、田玉^{たま}ある事とか関係ない勢いで、怪獣化してます、

しかも手に高速道路で買った名産品、まだもつてます、

機動警察が家に来ました、

「くらしげさん、あなた、あれ捨てたでしょ、駄目ですよ。不

法投棄は。

捨いにいってください。あれ」

警察は爆弾とか散々打って、どうしようも無くなつて、僕に捨いに行けつて言つてます。

これが、國家権力なんですね、

爆弾と、ビルと、大型トラックの請求書、￥250000000をペランつと置いていきました。

払えないっちゃーの。

行くしか無いみたいでしす、ピータン捨いに、

僕は日本国が用意したヘリコプターに乗せられました。

操縦してる人が言いました。

「あー、あれ、あんたのなんでしょ? 困るよ本当、イザとなつたら、あんた、怪獣の

とこ、投げ捨てるから、宣しく」

僕は怖いわあ、國家権力、と思いながら、ポテトチップスを

バーリバーり

と食べました、だつて俺、死ぬ確率80%ぐらいあるから、最後のポテト樂しまないと、ね。日本を代表するお菓子だし。

最後のポテトは「韓国風ブルゴギ味」でした。

最終話

今、ヘリコプターの中です。

操縦士の方が変な装置を僕に手渡しました。

「あんたに、これ、渡します。この装置のボタン押すと、凄く爆発しますから、ね？」

ね？って、爆発して、ピータン死ぬのはいいけど、間違いなく、俺も死ぬじゃーん・。

そんなこんなで、ピータンがいる所に到着。

ガンガンと、建物壊します。人も食べてます。怖いないもう。そして僕は「グイツグイツ」と國家権力という圧力に押され、、とうとうピータンの前

まできました、再会です・・・

ピータンは僕を見るなり、ピータンは食いかけの人間を投げ捨て、「アジャパー！・・・ぐ、らしげ、、てめえ、捨てやがつて！・・殺したる！ああ殺したる！・！」

と、僕を軽々と持ち上げ、食べようとなります。

僕は確かにピータンを捨てたし、ピータンがそれで納得するなら仕方無いし、

僕が死んだ後、ピータンが日本を滅ぼしても、

「そんなもん、知った事か！・！」

と思いました。覚悟決めました。ボタンは押さない、、、

10秒経過・・・ん、、、？食わない、、、ピータンは僕は食い殺しません、、じばらくして、、、

「ビヤーオ、、く、らしげ、、迷惑掛けてごめんよ、、これ、、渡したかつた、、」

高速で買った名産品を僕に差し出す、、

僕はびっくりした。ピータンは僕のために高速道路のお土産を買つてたんです（まあ、僕の金でね、、）

本当に感動しました、、殺せないよ、、僕にはピータンを、、日本中を敵にまわしても、僕はボタンは押さない！

「ピータン！どこか無人島で一緒に暮らそうーー！」

僕がそう言つと、ピータンは今まで観た事ない最高の笑顔で

「ホンジャマカ、、く、らしげ、、ありがとう

と言い、、次の瞬間、、僕から装置を奪い、、僕を遠くへ投げ捨てた、、

そして、、爆発

僕はしばらく動けなかつた。ピータンは跡形も無く、消し飛んだ、、居なくなつた、、

僕は泣いた、、日本政府代表は

「よくやつたーー君は日本国を救つた英雄だ」

などと言つて來た。僕は思いつきりそいつを殴つた。

「見た目は怪獣でもなーー心は凄く優しかったんだーー本当は悪い怪獣じゃないんだーー！」

お前らになにが分かるーー俺は全然、英雄なんかじゃねーー！

もうなにを言つたかあんまり覚えてないけど、、悲しくてしようがなかつた

僕は家に帰つて來た。ピータンはもういない、、

国は￥250000000を￥200000でいいよと言って来た。

自己責任がどうたら、一人でイラクに行くなんて、馬鹿だ！
責任はお前にある！…とか訳分からん議論をして、僕は英雄だからと割引してくれた。

まあどのみち払わんけど、駐禁も払った事ないのに、

ピータンは幸せだったんでしょうか？

もつとなにかしてやれたんじゃないかな？

後悔ばかりだ、

名産品を開けてみた、ふふ、僕が大嫌いな明太子と、わさびの柿の種だ、

僕は気づいた。きっとピータンは僕の心の中にあった、モヤモヤだつたんだ、

それが、実物化したのがピータン。

だからピータンは、僕、そのものだつたんだと思つ。

（つて、思えないっての。美化しすぎー！あれ、怪獣だつたじやーん。）

だから日本滅ぼそうとしてたんだね。えへ。だつて俺、ずっと日本滅んで欲しかつたし

、ね。

ハックション！…あつ、すいません、くしゃみしちゃいました。

あ、ピータンが誕生しました。

鹽わこわくしゃみにせ飯をせかへだれこね、ふふふ。

今度は、ピータンと、無人島で一緒に暮らうと思こます。さよなら。

END

新ピータン1

私の名前はテメ子。22歳だよ。煎餅の工場で働いています。
まあ、人生的には、、負け組だと思います。

そんな前置きは置いといて、くしゃみします。
くしゃみしないと話しつづまないのう。

「ハックション」

クチからなんか出てきました。トカゲ??なんでクチから??
キモイ、、私キモイ!!!
つていうか、、超気持ちいい!! BY 水泳の人!!!
あ、、言つてみたかっただけだよ。

とりあえず床でトカゲ?が、びちびちと動いています。
びちびちとね。海老?

うーん。どうしよう、、私、普通の乙女なのに、部屋にトカゲいます。
やばいでしょ、、

だってね、、部屋に帰つて来て、
「はあーい、寂しかった??トカゲちゃん!LOVE、LOVE」
とか言つてたら、、本当にやばいよね、、

なのでゴミ箱に捨てました。

おしまい。

つて終わつたら話しこなうないので、一度ゴミ箱に捨てたトカゲ?を取り出しました。

よく見ると、なんか可愛い顔します。

芸能人のマチャミにそっくりです。

つて嘘ですけど。いないよね、マチャミに似てるトカゲ、、普通あれ??なにか喋ってる、、
「ギャーオ、、女は好きじゃねえ、、俺は出っ歯じゃねー、、ビヤー
ーオ」

なにこのトカゲ、、なんで言葉喋れるの??
不思議なので、ピータンのパートーー読んでみたけど、、

余計分かりませんでした。

でもパートーー読んだので、このトカゲがどういう物か知りました。
名前もピータンって言うんですね。
その内、巨大化するんですね。

私は深く物事を考えないタイプなので、ピータンを育ててみる事にしました。

そんな感じで、これから脇毛の処理するので今日おしまい
剃りうとしたら、、なんか、、ピータンが見てる気がします、、

私は言いました

「ピータン！私は一応乙女なんで、見ぢや駄目だよーーー。
つて言つても分からぬいか！てへ」

「チッ、、」

明らかにピータンから舌打ちが聞こえました。

まあ、昨日剃つたので、脇毛はありませんでしたけど。

新ピータン2

はい、どもども、デメ子だよ。今日朝起きたらみそ汁とご飯が出来ていました。

え？ まさかヒーランか！？

つてトカゲに飯が作れるはずも無く、親が普通に作つてました！

やういえばパータンは！？

豆腐がね、

あ、みんなピータンが入ってると思った?
そんな訳無いじゃん。ピータンはトカゲだよー!?
みそ汁に入ってる訳無いつてのおーうふふ、

で、『飯を食べよ』としました。

はい、ピータンがご飯ジャーに入つてました、

私はママを聞いてつめました。そしたらママは
「あんた昨日、炊き込みご飯食べたいって言つてたじゅないー!?
だからいろいろ炊き込んだのよー海老とか

海老じゃないから、トカゲですよ、ピータンは

あと「」飯にはウナギと梅干しとチーズが炊き込まれてましたっ、

ああ、ピータンが死んじゃった、私が気を付けていれば
こんな事にならなかつたのに、

とりあえず「」飯を3杯ほど、もりもりと食べ、部屋に戻りました。

いました。ピータン。どうやら「」飯に入つてたのは
別のトカゲだつたみたい。別のトカゲつて、
私の家はサファリパークかよつ

ピータンは普通にベットの下に潜り込んでました。

私がピータンの尻尾をつかみ、強引に引っ張り出すと、
「ギヤー オ！－ビチャ K D O リー－！なんかお前トカゲ臭い－－！－
40代の親父の脇みたいな臭いする－－！」

うわ、凄い事言つてる、トカゲのくせに、私、結構ファザコンなのに、

生意氣なので回つてる洗濯機に放り込んでやりました。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0743a/>

ピータン

2010年10月28日08時52分発行